



吹田徳洲会病院

乳腺外科・形成外科からのお知らせ

乳房再建について

乳房再建とは

乳がん手術によって失われた乳房を、医療技術によりできる限り取り戻すための手術のことです。

昔の乳がん治療では根治性を追求し、局所にあるがんを含めて乳房を広範囲に切除する手術法が主流でしたが、近年では根治性を損なわずに乳房の整容性を重視したオンコプラスティックサージェリー（OPBS）という概念が定着し、乳がんの広がりに応じ、乳腺部分切除や乳房全切除後に「乳房再建」が行われるようになってきました。

～乳房再建の手術時期や手術方法はいくつかあります～

手術時期

- 一次再建 …… 乳がん手術と同時に再建する
- 二次再建 …… 乳がん手術後、一定期間を経て再建する

手術方法

- 人工乳房（インプラント）を使う治療法
- 自分の体の一部（自家組織）を使う治療法

乳房再建の手術では、**乳腺外科と形成外科との連携**によりワンステップでの一次再建が可能です。

乳腺外科により形態的変形を最小限に抑える工夫をしており、形成外科では表面の手術痕（キズ跡）が出来るだけ目立たなくなるように縫合しています。

当院での乳がん治療は**乳腺外科、放射線治療科、化学療法センター、形成外科**が集学的に治療を行っています。

ご入院の際は女性患者さんのみのレディース病棟をご利用いただいています。



電話でのお問い合わせ

医療法人 徳洲会 **吹田徳洲会病院**

☎ **06-6878-1110(代)**

お問い合わせ 平日 9:00～16:00(土日祝除く)
(ガイダンスが流れたら「3」を押ししてください)

★回線が混み合うことがございます。
その場合、恐れ入りますが、お時間を変えてお掛け直し下さい。



シャトルバスあります。詳しくはホームページをご確認ください。